

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号 66-0791
施設名 キッズタウンにしおおい
施設所在地 東京都品川区西大井 2-5-2 1
法人名 社会福祉法人こうほうえん

1. 活動のテーマ

自然【自然物で遊ぼう】

<テーマの設定理由>

当園は、桜の木や銀杏の木、紫陽花など緑豊かな自然に囲まれている。身近な自然環境の特色を活かして子どもの興味・発見を受け止めながら成長に繋がるよう、様々な角度から子ども達の育ちを見守ることにした。園庭では、レモンやキウイ、さくらんぼ等の果実が実る木々を育てており、それらを活用しながら遊びの中に取り入れている。また、春頃から幼児クラスが夏野菜の栽培を行っているため、野菜の成長過程を遊びの中で身近に感じながら保育活動を実践している。

2. 活動スケジュール

戸外遊び（園庭、公園など）…各30分程度を週3～4日、通年

1歳児：13名

3. 探究活動の実践

<活動の内容（準備したもの・環境設定）>

- ・季節を通して自然に興味を持てるよう、保育者が言葉がけをしたり、観察したり、触れたりした。
- ・散歩車に乗って自然が沢山ある地域の公園へ探索活動。
- ・袋を準備し自然物を持ち帰れるようにした。
- ・砂場玩具の充実。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり>

- ・「お日様が暖かいね」「お花が咲いているね」「あれは何かな」「これは〇〇（植物等の名称）だね」「どろどろだね」「ひんやりしているね」「葉っぱは何色かな」等と感ずることや見える自然現象を言葉にして伝えていき、共感していった。子ども達からも指差しや、「せんせい、あれみて」「たねみつけた」「さわってみたい」等の言葉で興味を知らせてくれるようになった。園庭で幼児クラスが育てていた夏野菜にも興味を持ち、「黄色いお花だ!」「これは何?」と生長過程を見ながら興味を持ったことを言葉にしていた。自分で見つけた葉や木の実など手に取った物を子ども同士で見せ合ったり、園庭や公園で遊んだ帰りに、子ども達が拾った葉や木の実、石などを握って持って帰ろうとしている姿が見られた。
- ・レモンの葉にも果実に似た匂いがする事に気づき、葉をこすって香りを嗅いでいる。また、他の葉にも匂いがあるのではないかと気づき、比べる姿があった。また、レモンや柿、キウイなど実がなっていることに気づき、落ちてると拾って保育者と一緒に見たり、それらをごっこ遊びに取り入れていた。
- ・新しく増えた砂場玩具を使って、園庭でのごっこ遊びに十分に遊び込めるようになった。園庭に落ちている

葉や木の実を使って、「これはせんせいのおべんとうだよ」「ごはんだよ」と保育者に提供してくれたり、木の枝をストローに見立てて「ジュースどうぞ」と表現し、友達や保育者とパーティーごっこをしたりして遊び込む姿が見られるようになった。

- ・小石や木の枝を使って保育者と一緒に絵を描くことに興味を示していた。



◎振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちが日々の活動の中で自然に触れていく機会が多い。ただ、それを経験として、興味関心を示すものとして発展させるのは保育者の関わり方次第だと感じた。自然事象を言葉にして伝えていくことで、日の光、風の強さ等の細やかな変化、肌で感じた事や、目で見た事柄にも名前や意味がある事に気付いたようであった。初めは保育者が主体的に伝えていた事も、今では聞き取れないほどに子ども達の方から伝えるようになった。また、1年を通して戸外で活動していった事で、季節の変化に気付くことが出来たと思う。今後も、子どもの興味や関心を引き出していけるような保育活動をしていきたい。